

1. 総括

2020 年度を振り返って

1. コロナ禍における事業の実施状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、上半期は訪問系事業において利用件数が減る等の影響がありましたが、下半期は回復傾向となり、1年を通じた利用実績は2019年度のほぼ横ばいとなりました。結果的に全体の収益は微増となり、大きな影響を受けずに済みました。

また、訪問介護事業と放課後こどもくらぶに対しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための補助金が各100万円交付されました。この補助金で、施設の環境整備を行うと共にマスク等の消耗品を購入することができました。その他に、放課後こどもくらぶへは小学校臨時休校期間中の人件費、ホームヘルパーに対しては慰労金の支給がありました。おかげで、一人の感染者を出すことなく、不安の中で業務に当たったスタッフの士気を保つことが出来ました。

2. 新しい取り組み

2020年度は、新たに東広島市の「産前産後サポート事業」に参入した他、「元気輝きポイント制度」の登録団体となりました。「産前産後サポート事業」では、陽だまりクラブの活動者が母子の支援に当たりました。

「元気輝きポイント制度」は、ボランティア活動を行った40歳以上の市民に東広島市が報奨金を支給する制度ですが、陽だまりクラブの活動が認定されたことで活動者の励みとなりました。

この他にも、東広島市から新たな子育て支援事業について様々な相談が寄せられた1年でした。残念ながらいづれも実現はしませんでした。当法人が20年間、利用者や地域のために誠実にひたすらがんばってきたことが評価されたものと受け止めています。

2021 年度の取り組み

1. 「ひろば型子育て支援施設」の開設

2019年度に、当法人のビジョンを「支える、参加する、飛び立つ」の3つの役割を担う居場所づくりと決めました。「支える」は子育てや介護、病気や障害などで社会とのつながりを失ってしまった人がつながりを取り戻すための居場所、「参加する」はスタッフやボランティアにとっても自分らしく活躍できる居場所、そして「飛び立つ」は学生などが陽だまりでの経験を生かして次のステージに飛び立つための居場所です。2021年度はいよいよそれを形にするべく、東広島市が公募する「ひろば型子育て支援施設」に応募し、さまざまな世代が交流できる施設の開設を目指します。

東広島市の補助金は年間約400万円であるため、運営費用がかなり不足します。この不足分を寄付金で補うことを目標に、企業へ積極的に働きかけていきます。

2. 「SDGs 未来都市東広島推進パートナー」

SDGsへの取り組みは、私たちNPOにとっても欠かせないものになっています。そこで、東広島市が募集している「SDGs 未来都市東広島推進パートナー」となり、当法人としてもSDGsの達成に取り組んでいきます。

事業報告

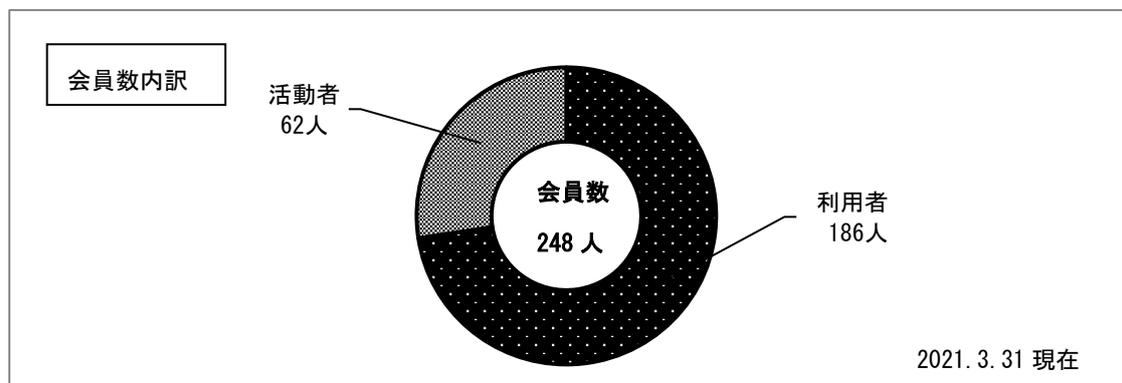
(1) 陽だまりクラブ（非収益事業）

① 目的

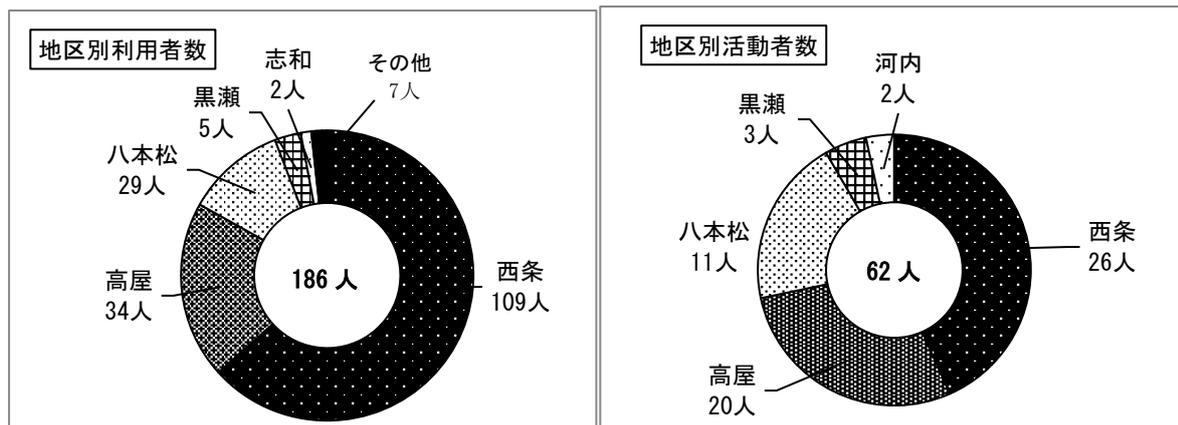
陽だまりクラブは会員制のたすけあい活動です。地域の人々がお互いに助け合うことを趣旨とし、家事や介護といった身の回りのことをはじめ、生活での困りごとをお手伝いします。

② 会員について

②-i 会員数



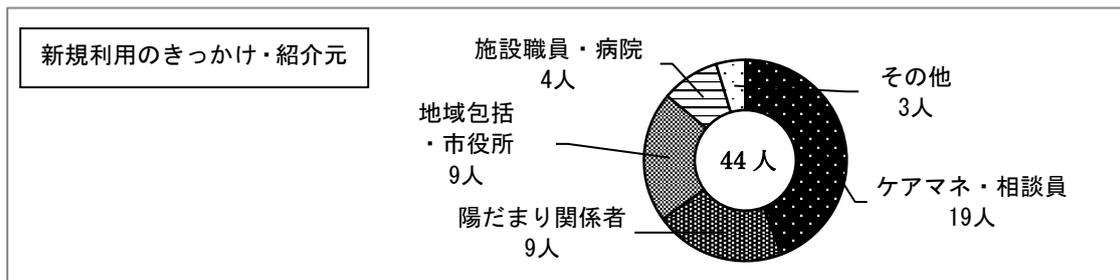
- 会員数は2019年度と比較し、利用者11人増加・活動者数3人減少でした。賛助会員、登録のみの会員はNPO法人会員とし、2020年度より陽だまりクラブの会員から外しています。



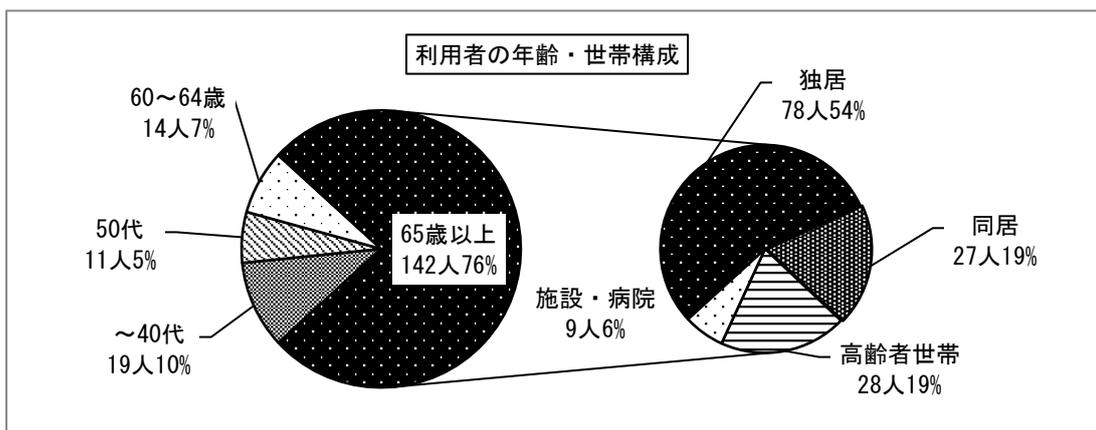
東広島市：西条・高屋・八本松・志和・黒瀬・河内・福富・豊栄・安芸津（9町）

- 利用者、活動者ともに登録者の多い順に西条・高屋・八本松となっています。市内の中心地から離れたところでは、依頼があっても活動が成立しないケースもあり（遠方で早朝・往復で1時間以上かかるなど）、利用者と活動者のバランスが課題の一つになっています。

②- ii 利用者

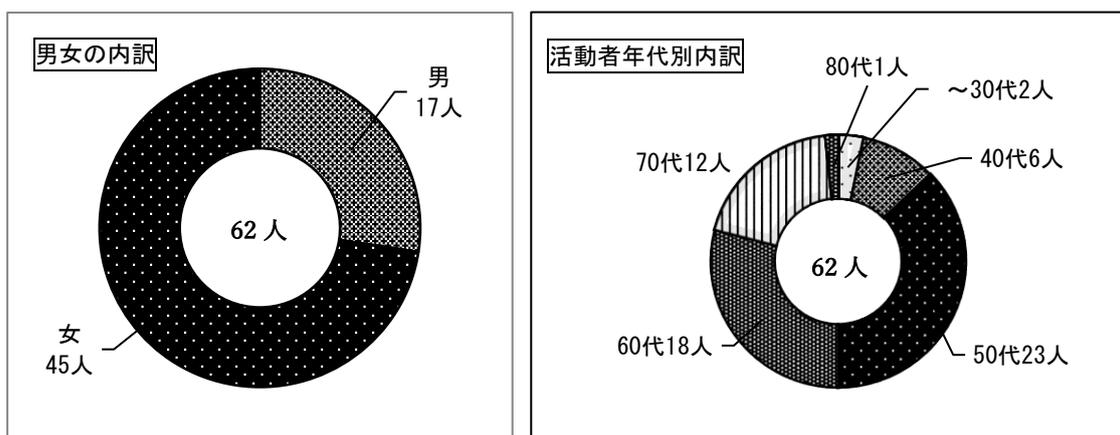


- 新規利用者は44人で2019年度より3人減少しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響で施設利用者の新規入会者はありませんでした。
- ケアマネジャー・相談員からの紹介が2019年度同期よりも15人増加しました。陽だまりクラブの新パンフレットを持参し、居宅介護支援事業所、病院等巡りをした成果が表れていると思われます。
- 地域包括支援センターからの紹介もコンスタントにありました。家事支援での依頼の割合が多く、同居の家族がいても頼れない、ヘルパー制度では頼めない掃除や片付け、草取りなどの希望がほとんどでした。

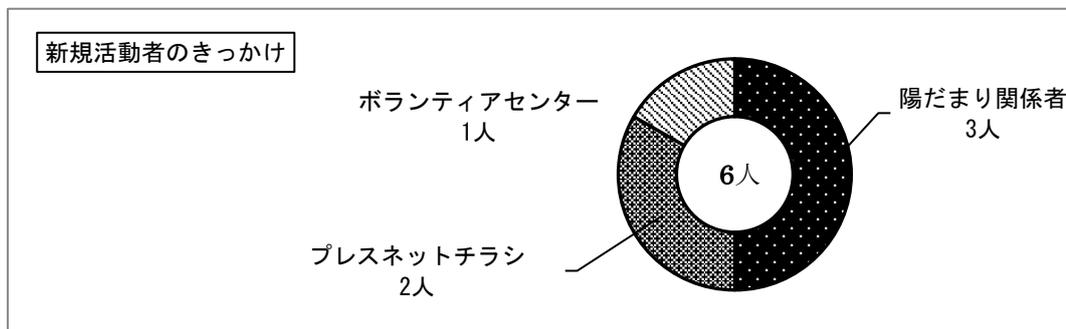


- 2019年度と比較して、65歳以上の独居の利用者が10人増となっています。ケアマネジャー・相談員からの依頼が増えたことが要因と思われます。

②- iii 活動者

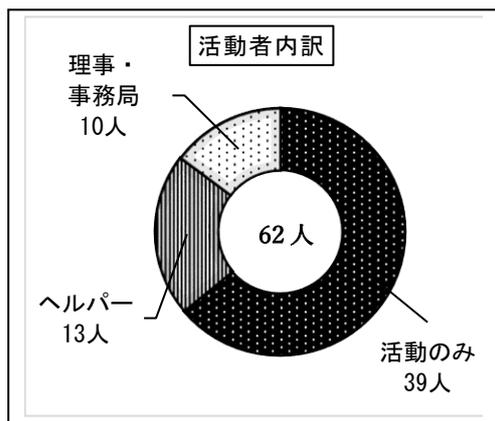


- 男女の内訳は女性7割、男性3割となっており、2019年度と変わりありません。
- 年代別内訳では60代以上の登録が約5割となっています。退職後の社会貢献活動の場の一つとなっていることが窺えます。

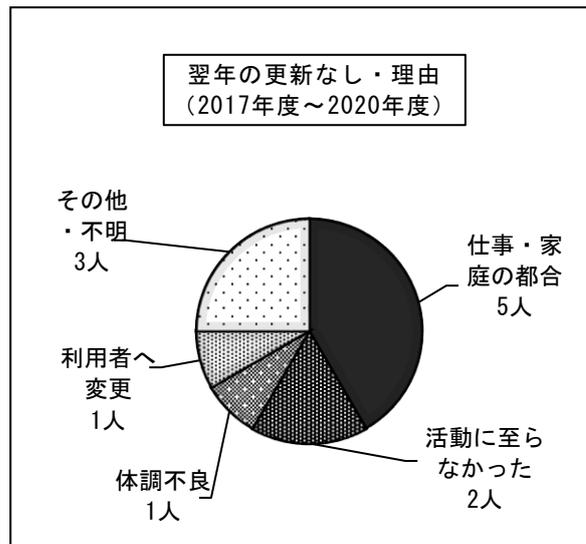
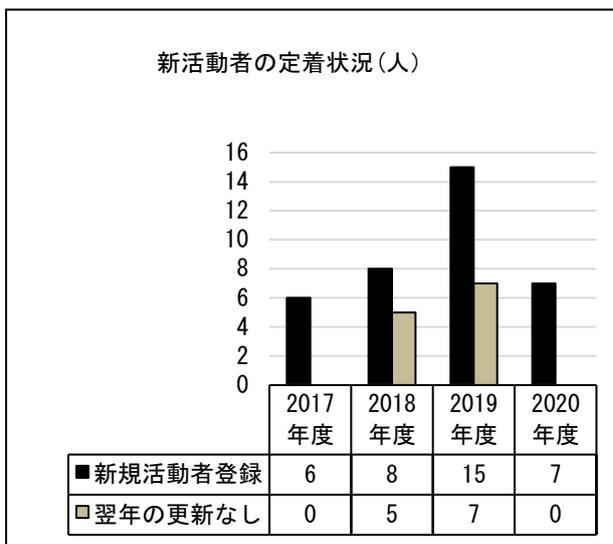


- 新規活動者登録のきっかけでは、プレスネットの折込チラシを見てが2人いました。プレスネット折込チラシは8月・10月・12月に各2万枚を東広島市内に配布しました。
- ボランティアセンターでチラシを見た人が1人登録しました。

②-iii 活動者稼働率

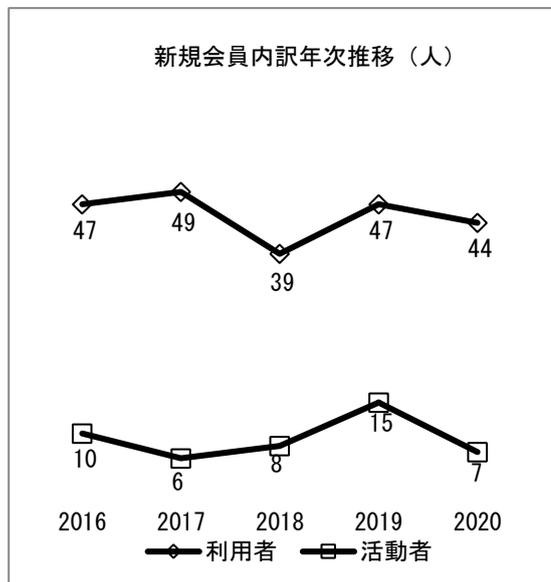
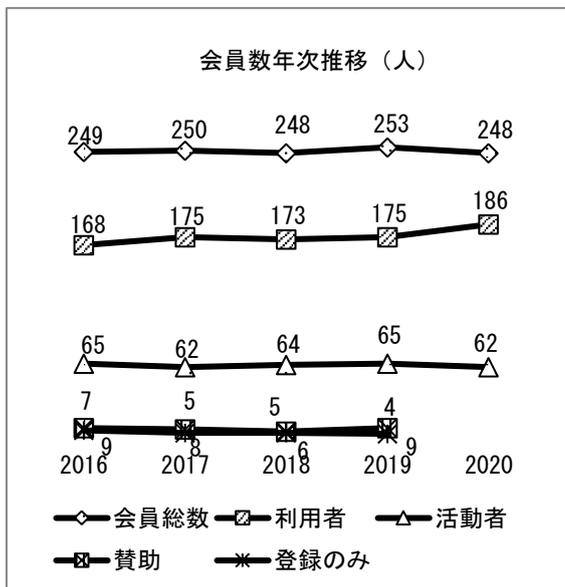


- 4月～3月の活動者実数月平均35人に対して登録活動者62人で稼働率は約56.4%でした。
- 〈活動をしてもらえていない理由〉
- 他の仕事があり都合が合わない
 - 利用希望者宅から離れた場所に住んでいる
 - 活動可能な依頼がない
 - 家庭の事情・体調不良で活動ができなくなった

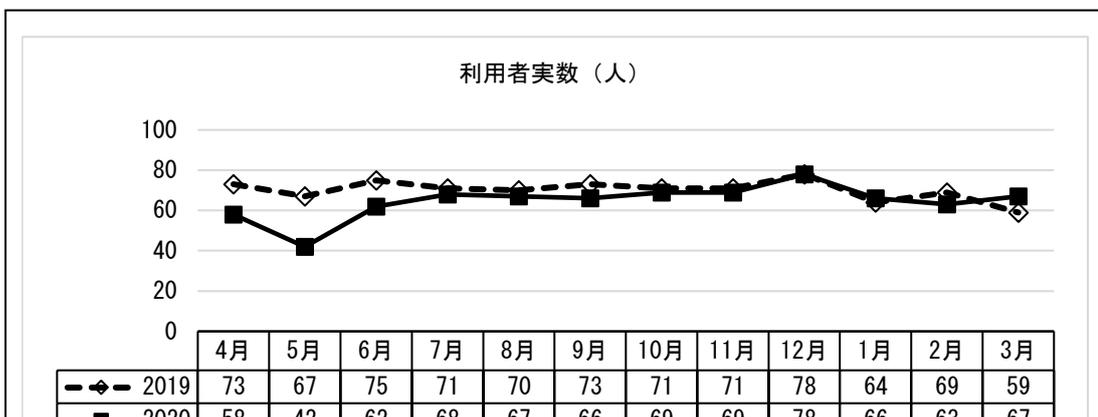
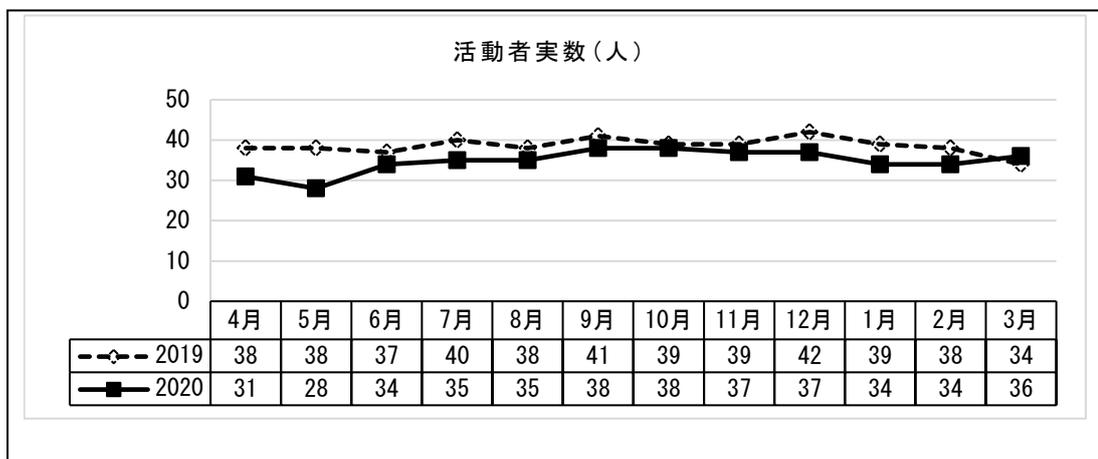


※ここでの「定着」とは翌年度の更新をした場合としています。

- 新規活動者の定着率は年ごとにばらつきがありますが、翌年の更新しなかった人のうち理由が「活動に至らなかった」という人に対しては活動者が可能な活動のアピールや、陽だまりクラブ以外の活動の紹介をしていき、陽だまりとの関係をつないでいけるような提案を用意しておくことが課題となっています。

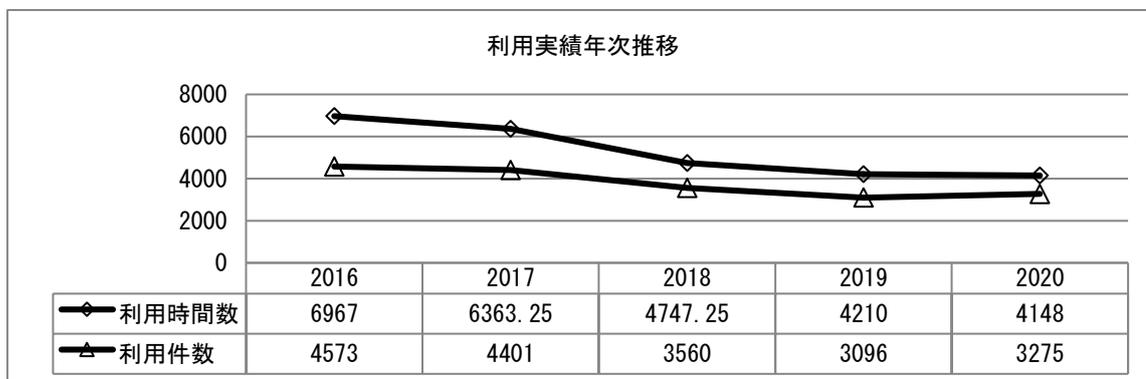


- 新規会員数は2019年度と比較し3人減、新規活動者は8人減となっています。

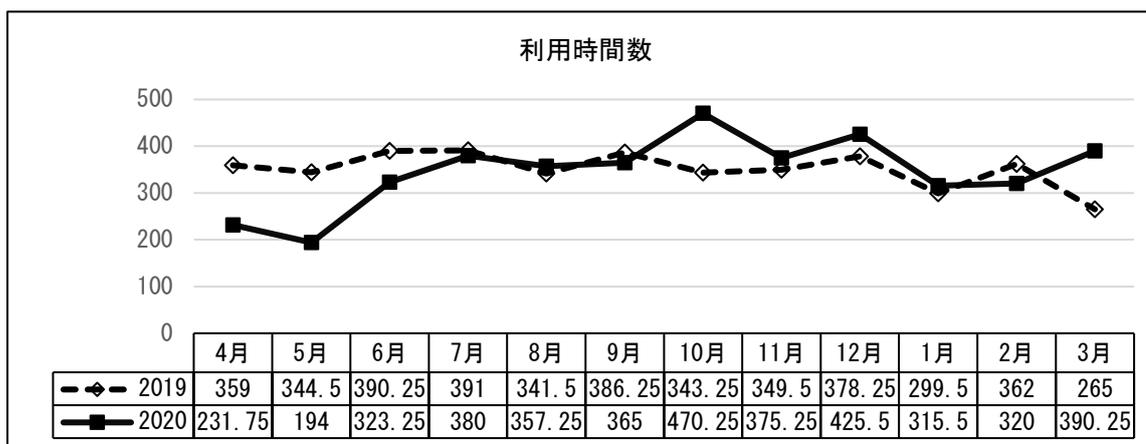
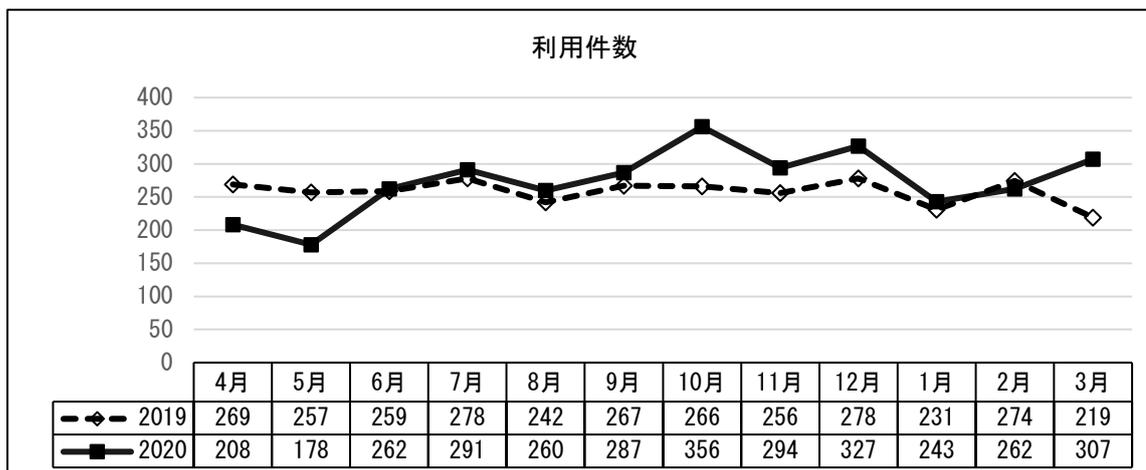


- 2019年度と比較し、活動者実数は全体的に少し減りましたが、利用者実数は、施設・病院での利用が全くない中でも7月以降はほぼ変わりありませんでした。

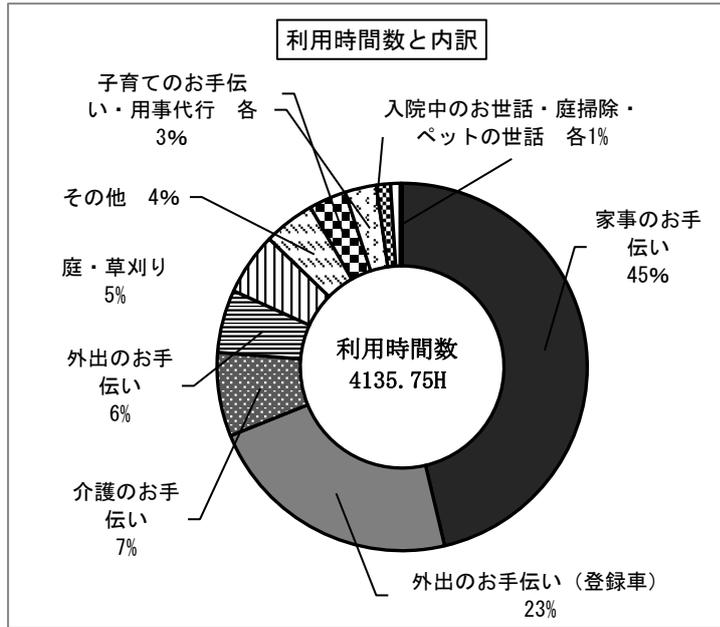
③ 実績報告



- 利用時間数は2019年度と比較し62時間減、利用件数は179件増でした。



- 4月・5月は利用件数・利用時間数ともに新型コロナウイルスによる影響で2019年度よりも大きく減少しましたが、下半期では2019年度を上回っており利用が回復しています。しかし、依然として障害者施設、高齢者施設、病院からの依頼はありません。



内容	時間数
家事のお手伝い	1915.25
外出のお手伝い(登録車)	934
介護のお手伝い	305.25
外出のお手伝い	228.75
庭・草刈り	226
その他	185.75
子育てのお手伝い	134.5
用事代行	113.75
入院のお手伝い	51
庭掃除	36.5
ペットの世話	5

[内容例]

家事のお手伝い…食事の支度、買い物、掃除、洗濯など

介護のお手伝い…身体介護、話し相手、見守り、デイサービスの送り出し、入院中のお世話など

子育てのお手伝い…家事代行、託児、子守り、産前産後のお手伝いなど

外出のお手伝い(登録車)…陽だまり号や活動者の車を使って外出

外出のお手伝い(公共交通機関)…電車、バス、タクシーを利用して外出

④ 研修報告

④-i 主催研修

	月日	内容	講師	受講生
1	8/24 11/12 2/10	活動者新人研修	・陽だまり事務局スタッフ (市川、山口)	受講者 計5名 (堤・前川・三木・ 貞永・増田)
2	8/29・30	「第1回福祉有償運送運転者講習会」 ・認定講習/セダン講習	・倉西 達之(理学療法士) ・市川 マヤ ・佐々木 政美	受講者 23名 ・外部参加 22名 ・陽だまり会員 1名
3	10/31 11/1	「第2回福祉有償運送運転者講習会」 ・認定講習/セダン講習	・市川 マヤ ・佐々木 政美 ・石井 弥生	受講者 10名 ・外部参加 8名 ・陽だまり会員 2名
4	1/20	「活動者研修」	陽だまり事務局スタッフ	参加者 20人 ・活動者 15人 ・事務局 5人

- 「第2回福祉有償運送運転者講習会」より、内部講師のみで開催しました。これにより、講師の日程調整をする必要がなくなり開催日を調整しやすくなりました。また、講師料の支払いがなくなったため、受講料を値上げすることなく開催を継続することができました。

⑤ 社外活動

⑤-i NPO法人全国移動サービスネットワーク

※

月日	内 容	場 所	参加者
6/18	・NPO法人全国移動サービスネットワーク通常総会 (リモートにて事務所パソコンでの参加)	東京都港区 三田会館	宮本

※ 2015年度より宮本理事が全国移動サービスネットワーク理事に就任。

⑥ 課題と方針

- 利用時間数が近年減少傾向にあります。その理由を分析し、対策をとることが課題となっています。地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、病院の医療連携室に地域資源の一つとして認知してもらえるよう案内をしていくとともに、可能な活動内容を定期的に紹介していけるような取り組みを行っていきます。
- 活動者については、運転活動者・一般活動者ともに、どのような方法が効果的なのかを検討しながら、継続して募集活動をしていきます。また、新たな活動者を開拓するため、企業の退職者を対象とした募集活動も行っていく予定です。現活動者については、活動者同士の交流やつながり作りが出来るようなイベントを企画し、活動者にとっての居場所の一つになるような取り組みをしていきます。

(2) 訪問介護（収益事業）

① 目的

- 法人全体の事業を運営していくための収益事業です。
- 介護を必要とされる方々が、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、また、介護をされているご家族の負担を軽減できるよう支援を行います。

② 実績報告

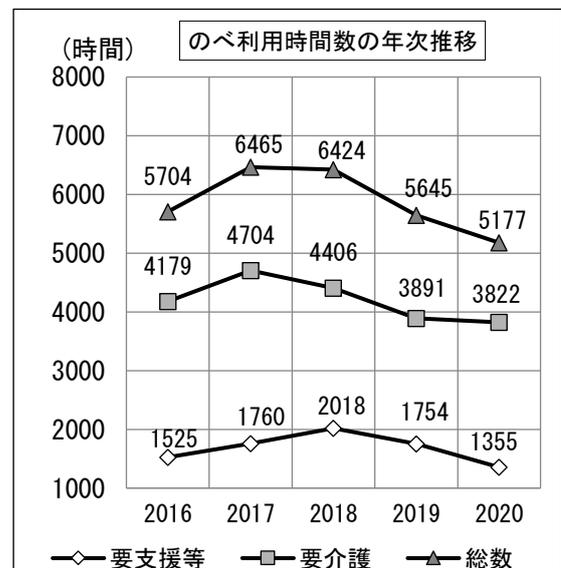
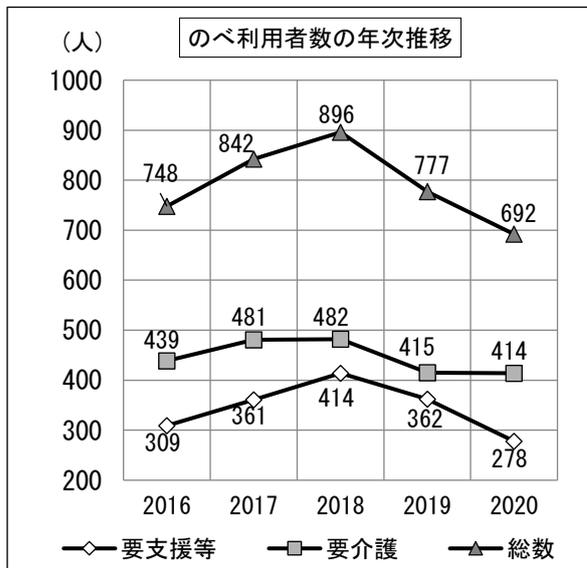
②-i 利用者実数

2021年3月31日現在

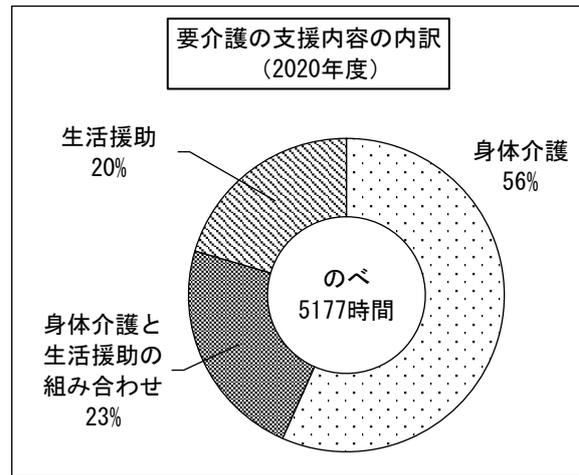
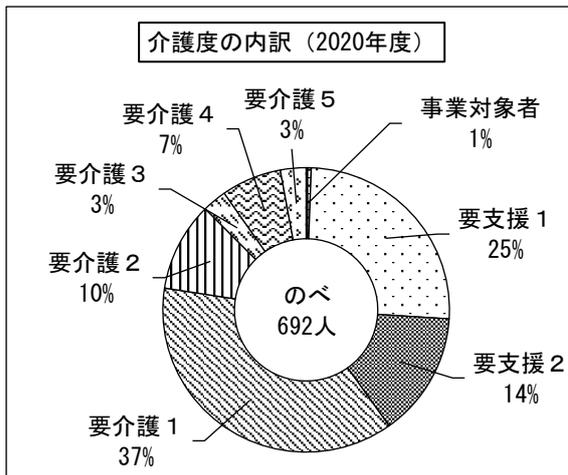
事業 対象者	介護保険					障害者 総合 支援	計 (人)		
	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3				
1	14	6	21	8	1	5	1	7	64

- 管理者（サービス提供責任者と兼務）1人、サービス提供責任者1人、登録ヘルパー13人で事業を行いました。
- コロナ禍でも自主的な利用控えはなく、結果として登録人数は2019年度の横ばいでした。緊急事態宣言が出た4～5月に、利用者3人が居住している施設が訪問系事業所を出入禁止にすることがありましたが、6月から再開し、その後新型コロナウイルス感染症による影響は出ていません。

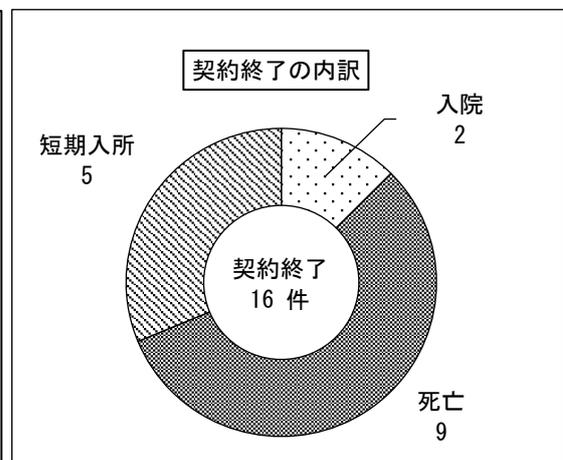
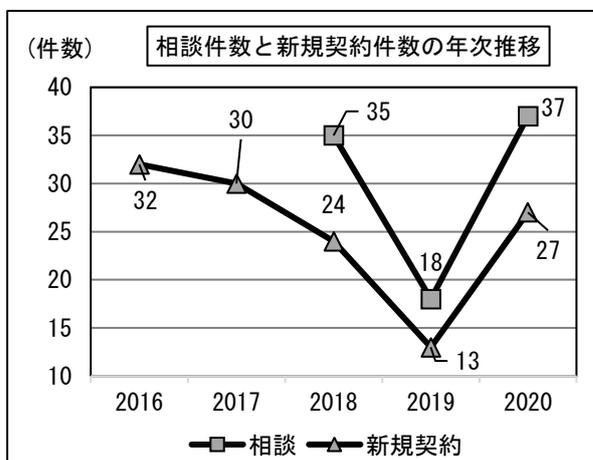
②-ii 介護保険



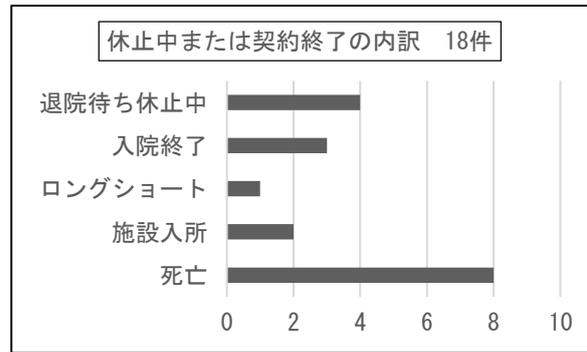
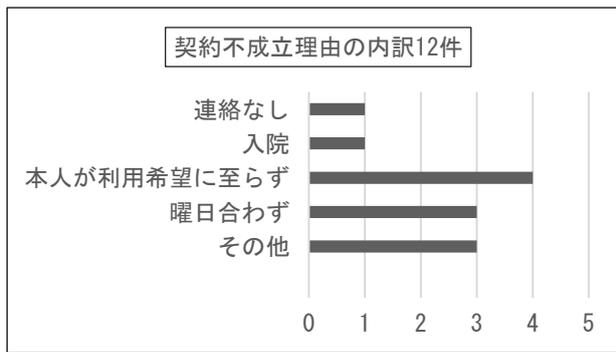
- のべ利用者数は692人で2019年度と比べ要支援等23%減、要介護は横ばいで、全体では10%減でした。
- のべ利用時間数は、5,177時間で2019年と比べ要支援等23%減、要介護は横ばいで、全体では8%減でした。



- 介護度の内訳では、要介護が2019年度と比べ7%増加しました。支援内容の内訳では、身体介護を含めた支援が80%を占めています。

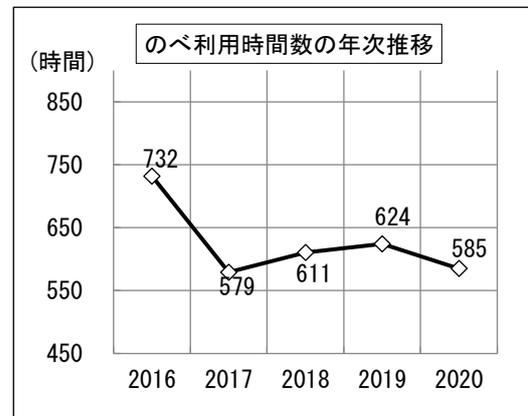


- 相談件数は2019年度の2倍の37件でした。そのうち24件が居宅介護支援事業所で、新しいご縁の事業所も2件ありました。また、新規契約も2019年度の2倍にあたる27件で、依頼ルート内訳は居宅介護支援事業所20件、地域包括支援センター7件でした。27件のうち陽だまりクラブとの併用者は7人でした。
- 介護保険ではできないことや不足する部分を陽だまりクラブに求められる傾向は続いています。その他、制度利用を嫌い陽だまりクラブのみを受け入れた要支援者が体調悪化に伴い訪問介護で引き継いだケース、新型コロナウイルスの影響で外出を控えて体調悪化した利用者に対し身体介護支援が短期間に急増したケース等がありました。
- 2020年度は利用者の一人が新型コロナウイルス感染濃厚接触対象者（陰性判定）となり、2週間朝昼夕各30分の支援をヘルパー4人と訪問看護事業所で対応しました。
- 契約終了は2019年度に比べ40%減の16件でした。2020年度はターミナルケアや支援途中で家族対応などに変更のため1~3ヵ月で終了するなど、短期間支援のケースが6件ありました。



- 契約不成立理由の「その他」とは、利用中の事業所のみで対応できるようになったケース、陽だまりクラブだけを希望されたケースを指します。

②-iii 障害者総合支援



- 利用者実数は7人、のべ利用者数は77人で2019年度の横ばいでした。のべ利用時間数は585時間で2019年度から6%減でした。
- 数年前に就労のためサービス終了となった利用者が、11月から再開となりました。一方、入退院やキャンセルした利用者がいたため、のべ利用時間数は伸びませんでした。家族と同居していた利用者が独居となり、支援に入る事業所が増えたことで陽だまりの担当時間数が減ったことも影響しています。

③ 研修報告

③-i 社内研修

	月日	内容	参加率
1	4/9	伝達講習 介護技術（更衣交換、おむつ交換、うつ伏せから座位、視覚障がい者の食事介助）	13人/13人
2	4/16	倫理・法令順守の事例検討、個人情報の保護をテキスト対応	13人/13人
3	5/15	プライバシー保護、接遇の事例検討をテキスト対応	13人/13人
4	6/18	熱中症予防、救急対応についてとケアカンファレンス	13人/13人
5	7/9	食中毒	13人/13人
6	7/16	災害時、緊急時対応	12人/13人

7	8/20	感染症対策（新型コロナウイルス）	13人/13人
8	9/10	事故再発防止、ヒヤリハット	12人/13人
9	9/17	ともに行う自立支援、認知症	11人/13人
10	10/15	サービス中の地震対策について	11人/13人
11	10/22	東広島市出前講座：高齢者権利擁護について	12人/13人
12	11/12	伝達講習：認知症の人の家族を地域で支える	12人/13人
13	11/19	自己評価、研修内容グループワーク	11人/13人
14	12/10	法人の役割と寄付について、カンファレンス	11人/13人
15	12/17	伝達講習：おむつ交換とシーツ交換	11人/13人
16	1/14	陽だまりクラブ合同：産前産後サポートについて	11人/13人
17	2/18	伝達講習：認知症ケア困難事例検討、カンファレンス	12人/13人
18	3/18	伝達講習：新型コロナウイルス感染症と心のケア、カンファレンス	11人/13人
19	3/21	安全運転講習会	12人/13人

- 倫理・理念・法令順守などの課題研修を11回、実技研修を2回、東広島市出前講座1回他計19回実施し、出席率は91%でした。実技研修は、ヘルパーから声の上がったおむつ交換やシーツ交換を中心に取り組み、認知症ケアの伝達講習も実施しました。その他、個別ケースについてカンファレンスで手順確認や課題について情報共有を行いました。
- ヘルパーが主体となってテーマについて調べ進行する新たな研修スタイルを、2回取り入れました。

③ - ii 社外研修

	月日	内容	主催	参加者
1	7/9	東広島市産前産後サポート研修会	東広島市	2人
2	7/11	防災研修会	東高屋 Dan らんサロン会	1人
3	10/8	認知症の人と家族を地域で支える	東広島地区医師会	3人
4	11/19	地域での子育てネットワーク	東広島市	1人
5	12/10	新型コロナウイルス感染症と心のケア	東広島地区医師会	4人
6	2/4	介護報酬改定セミナー（オンライン）	シルバーサービス振興会	2人

- 2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、オンラインや東広島市内で行われる研修に留めました。

④ 産前産後サポート事業報告

④ - i 実績

相談件数	利用者実数	支援内容	サポーター
6人	3人	調理、そうじ、子守り	5人

- サポーターの内訳は、陽だまりクラブ活動者2人、ヘルパー3人でした。

④－ii 社外研修

	月日	内 容	主 催	参加者
1	11/19	地域での子育てネットワーク	東広島市	2人

- 「地域での子育てネットワーク研修」は陽だまりクラブと一緒に参加しました。

⑤社外活動

- 東広島市自立支援協議会ヘルパー支援部に所属し、佐々木が2020年度は部会長を、2021年度は副部会長を務めています。部会には障害者のヘルパー事業を行っている26事業所が登録し、毎月13～14事業所が参加しています。2020年度の成果として、行政から通達があった新型コロナウイルス感染症対策の留意点を共有することで、感染者及び濃厚接触者への直接支援ができるように準備を整えることができました。
- 東広島市の状況としては、部会に参加したヘルパー全事業所が2020年4月から2021年2月まで移動支援を全面中止しました。2021年3月からは、一部の事業所が広島県内の病院受診のみ再開している状況です。なお、陽だまりは移動支援の契約者がいませんでした。
- 事業所によっては、利用者と職員に対し、私的な県外移動の制限を求める等の感染予防対策を取っています。他事業所と情報交換を行うことで、当事業所の方針を決めることができました。当事業所は行動制限を設けませんでした。ヘルパーには緊急事態宣言中の行動履歴を残すことを求めました。利用者に求めたことはありません。

⑥課題と方針

- 2020年度はニーズ調査や不安解消のためのアンケートを行いました。その結果を踏まえ、2021年度は利用者へ寄り添った支援の充実と利用者増に向けた体制強化のため、サービス提供責任者を3人体制にします。
- 新型コロナウイルスを含む感染症や災害時、および利用者の転倒や急変等々の緊急時に備えた対応ができるよう、現場対応研修を強化します。
- サービス提供責任者の管理のもと研修内容の企画から実施、振り返りまでをヘルパーの担当制にします。ヘルパーの自主性や苦手分野を克服し、各自の自信に繋がるような研修を目指します。
- 産前産後ケア事業は、こども家庭課と連携しながら、サポーター育成と制度の理解に努め、子育てヘルパー支援に繋がる事業所にします。

(3) 放課後こどもくらぶ（非収益事業）

① 目的

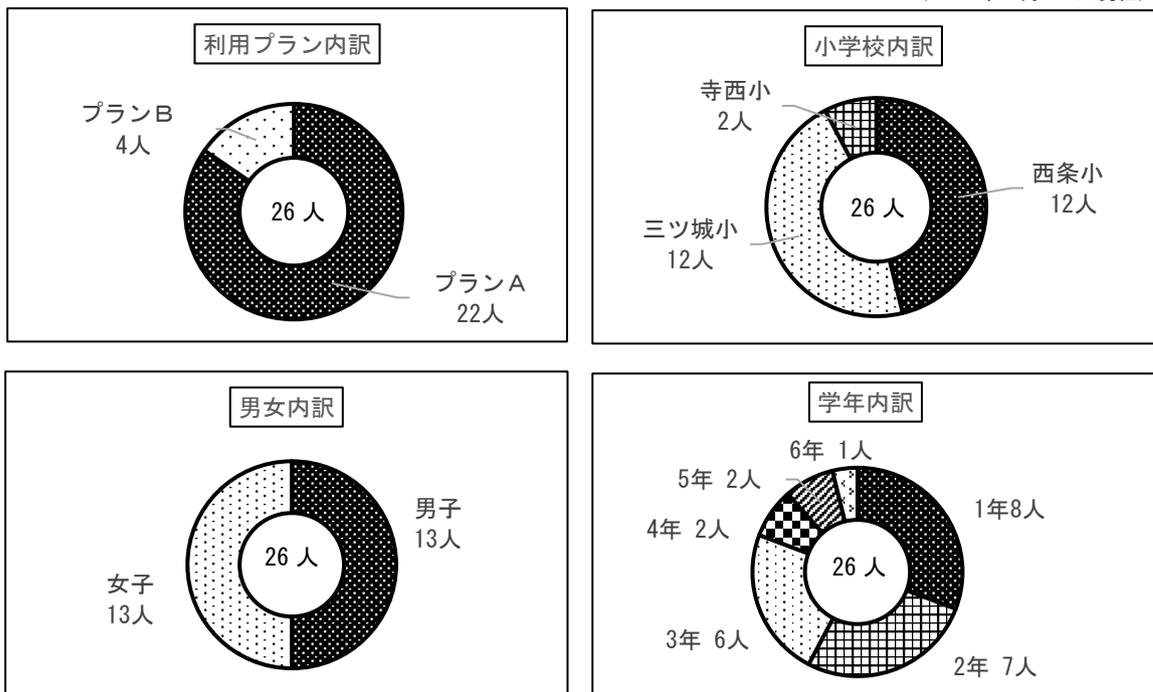
- 「じぶんを大切に育てる」をモットーに、2013年度に主に公立の学童保育を利用できない小学生を対象に開始し、2017年度から東広島市の補助事業として運営しています。

② 実績報告

- 2020年度は常勤2人、障害担当非常勤1人、学生スタッフ7人の1日4人体制で行いました。

②- i 利用登録実数

(2021年3月31日現在)



※ プランA（定員25人）…東広島市の利用要件を満たす児童、プランB（定員3人）…プランA以外

②- ii 月別登録児童数

(人)

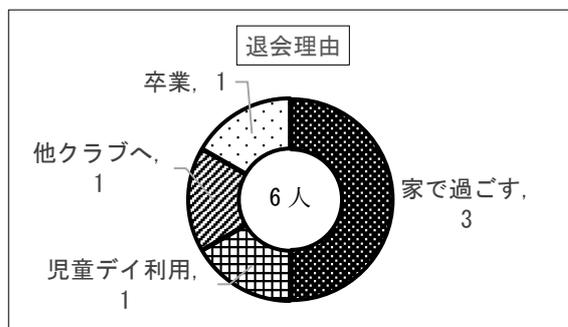
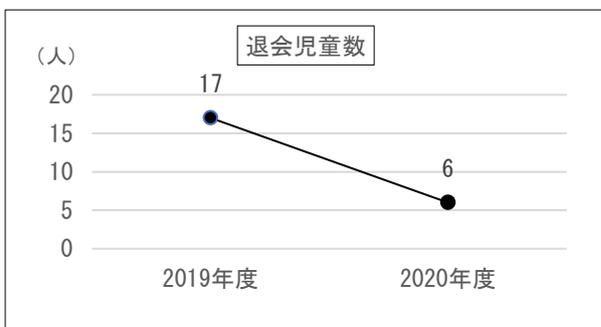
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
プランA	25	25	25	23	23	23	23	22	22	22	22	22	24
プランB	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5
合計(うち 障害児童数)	30 (3)	30 (3)	30 (2)	28 (2)	28 (2)	28 (2)	28 (2)	27 (2)	27 (2)	26 (2)	26 (2)	26 (2)	28 (2)

- 特別な配慮を要する児童はADHD1人、自閉症スペクトラム1人、知的障害1人でした。
- 2020年度は平均登録児童数が24人だったため1人分の補助金返還が発生した他、「障害児受け入れ推進補助金」の一部と合わせ、合計800,453円を返還することになりました。

②-iii 入退会児童数

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入 会	プランA	25				3	2	2		1			
	プランB	5					2				1		
退 会	プランA					2	4	1			4		
	プランB					3				1			1



②-iv 開設日数等

開設日数	平日	241日
	土曜日	49日
	日曜日、祝日等	0日
	合計	290日
開設時間	小学校課業日	放課後 ~ 19:00
	土曜日	8:00 ~ 19:00
	小学校長期休業日等	8:00 ~ 19:00

※ 延長は 20:00 まで

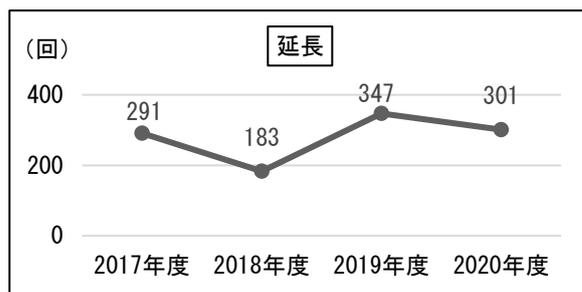
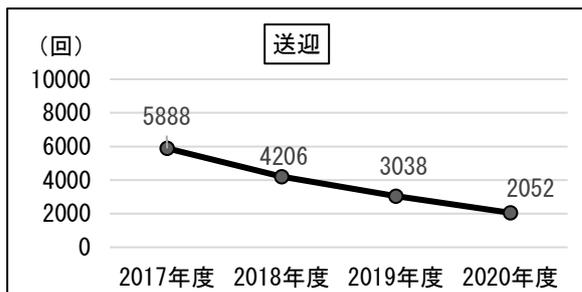
②-v 利用児童動向

		2020年度	2021年度
申し込み数	A	27(11)	34(12)
	B	5(0)	7(4)
入会児童数	A	25(9)	26(4)
	B	5(2)	6(3)
待機	A	2	8
	B	0	1

※ () 内は新規の数

- 2020年度3月末の登録児童は、小学校卒業を除き2021年度も継続利用をしています。

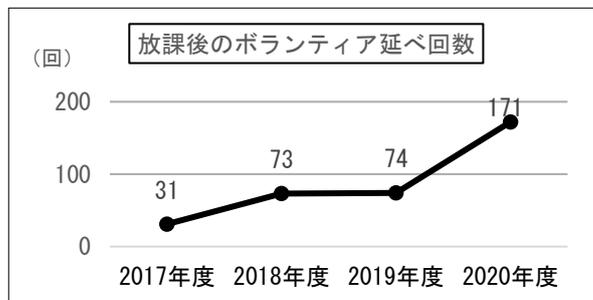
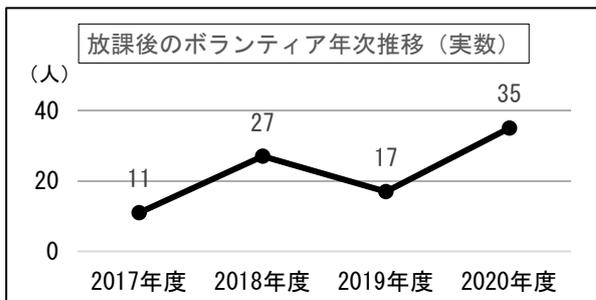
②-vi 送迎・延長利用



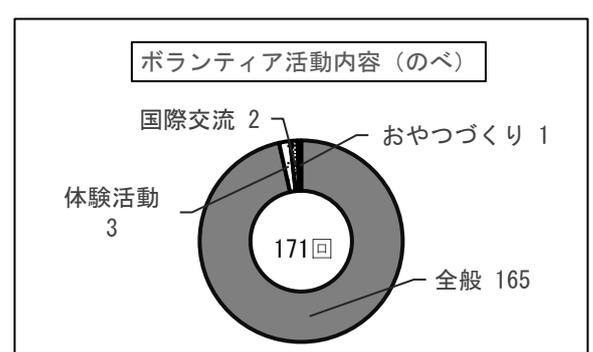
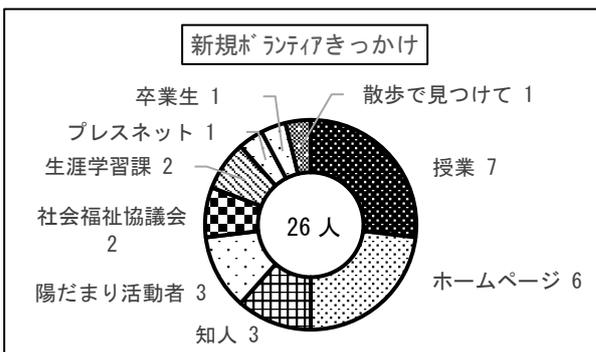
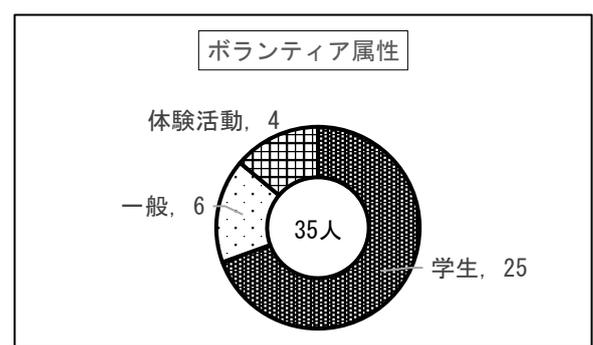
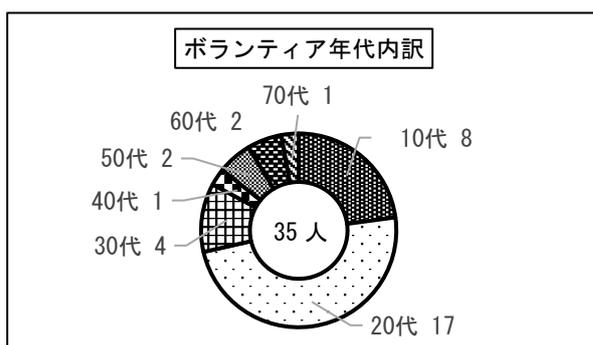
- 送迎は2019年度比68%でしたが、塾や習い事への送迎のニーズが減ったわけではありません。要因は新型コロナウイルス感染症による臨時休校中の360件減と、4月時点の寺西小学校児童数が2019年度6人に対し、2020年度は3人で半減したためです。
- 延長は2019年度比87%でした。

③ ボランティア

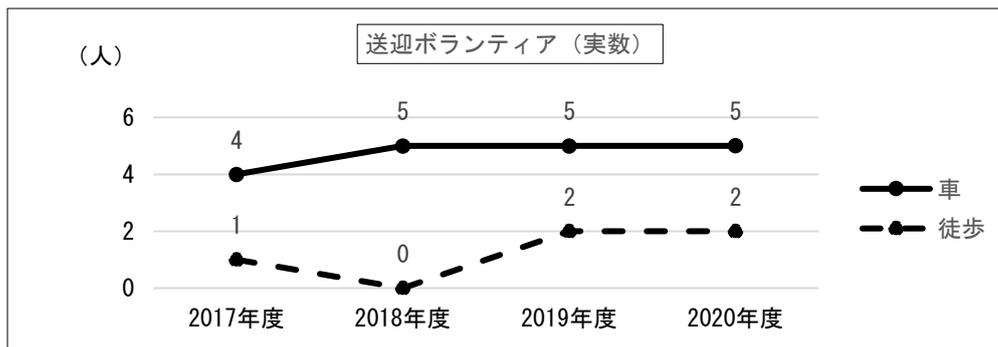
③-i ボランティア



- 広島大学の講座「地域社会探検プロジェクト～インターンシップ・ボランティアを体験してみよう～」の受講生が7人、計46回と全体の3割を占めたため、2019年度より大幅増となりました。



③- ii 送迎ボランティア



③- iii おやつボランティア

- 2人に水曜日と金曜日をそれぞれ担当してもらっています。
- 3月に新たに2人の応募があり、内1人が陽だまりと一緒に作りました。紹介経路は、いずれも現おやつボランティアのSNSでした。

④ 体験活動

	月日	内 容
1	4/1	オリエンテーション「ルール決め」
2	4/2	クッキング「焼きそば」
3	6/9	プラバン
4	6/24	バルーンアート
5	7/7	七夕「笹飾り」
6	8/12	夏まつり
7	9/16	避難訓練「地震」
8	9/23	お彼岸クッキング「おはぎ作り」
9	9/29	国際交流
10	10/29	ハロウィン
11	12/20	スノードーム作り
12	12/24	クリスマス会
13	12/28	正月飾り「熊手作り」
14	1/4	初詣遠足「御建神社」
15	1/5	正月遊び「コマ回し・百人一首・かるた・すごろく」
16	2/2	節分「豆まき」
17	2/17	避難訓練「火災」
18	3/22	お彼岸クッキング「ぼた餅作り」
19	3/31	お別れ遠足

- 上記表の他、毎月の誕生日会では150円分のお菓子を自分で選ぶ「駄菓子パーティ」を実施しました。

⑤ 保護者行事

	月日	内 容	参加者
1	7/19	保護者交流会	10人/24人
2	10/19～	保護者面談	22人/23人
3	11/3	親子交流イベント「どんぐりぱん作り」 ※5家族限定	5家族12人
4	12/3	2021年度利用児童対象こどもくらぶ見学会	5家族
5	2/5	アンケート用紙配布 (3/5集計報告)	22人
6	3/7	親子クッキング「時短クッキング」 ※5家族限定	5家族13人
7	3/21	保護者説明会（新年度に向けて）	14人/27人

- 保護者面談は、一人日程調整がつかず保護者より面談中止の申し入れがありました。
- こどもくらぶ見学会の参加者全員から、2021年度の利用申し込みがありました。

⑥ 研修報告

⑥－i 社内研修

	月日	内 容	非常勤 参加者数
1	5/25	こどもくらぶのルール確認（部屋の使い方・外遊びの留意点） こどもの情報共有	6人/6人
2	7/20	夏休みに向けて・熱中症対策・保護者交流会の報告・こどもの情報共有	6人/6人
3	9/11	こどもくらぶの方針・虐待と子どもへの関わり方・暴力をふるう子への 対応について・こどもの情報共有	6人/6人
4	11/19	保護者面談の共有・次年度の利用申し込み開始に向けて・行事予定の確 認・インフルエンザ予防接種助成・感染症・個人情報の取り扱い・こど もの情報共有	6人/8人
5	2/26	次年度利用児童について・保護者アンケート結果の共有・時給について 今後の行事予定・公園でのボール遊びについて・スタッフの動向	8人/8人

- 研修に参加できなかったスタッフには、後日個別で研修内容を伝達しました。

⑥－ii 社外研修

	月日	内 容	参加者
1	9/23	子どもを理解するための基礎知識	2人
2	10/1	子どもが抱える問題への対応	1人
3	10/28	事故防止及び健康安全管理	1人

⑦ 新型コロナウイルス感染症対策

- 4月、5月の学校休業期間中は計40日間（土曜日を含む）朝8時から開設しました。緊急事態宣言発令中は受け入れを15人までとし、保護者に協力を求めた結果、1日6～12人の利用がありました。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、施設のアルコール消毒・換気その他、スタッフは検温と室内でのマスク着用を行っています。
- 子どもたちには入室時の手洗い、うがい、マスク着用の声掛けをし、昼食とおやつは距離を取って喋らないで食べています。密着や接触を制限することは子どもにストレスを与え健全な発達を妨げる恐れがあるため、スキンシップは可としています。
- 補助金による環境整備を行いました。

【補助金100万円の使途】

1	布製ブラインド	6	フロアマット
2	空気清浄機 2台	7	会議用長机 2台
3	加湿器 1台	8	卓上机（小） 4台
4	飛沫防止パネル	9	サーキュレーター1台
5	不織布マスク	10	非接触体温計 5本
		11	ペーパータオル

⑧ 寄付

	月日	内容	寄付者
1	6/10	お菓子 100個	ボランティア GATS
2	8/27	「クレープ」キッチンカー	ニコサンカフェ
3	12/8	しゃべる地球儀	地域の方

⑨ 課題と方針

- 2021年度は、学校休業日に障害担当（非常勤）を1人増やす予定です。
- 10/13に東広島市民間放課後児童クラブ連絡協議会が発足し、陽だまりが事務局を務めることになりました。2020年度の運営主体7団体の内4団体が参加しています。2021年度は新たに開設した1団体が加わりました。情報交換など行いネットワークを広げていきたいと思えます。
- 2021年度は1日30人から31人の利用があり、一時利用の受け入れが出来ない状態です。また待機児童も9人いる上、すでに2022年度の間い合わせが入るなど、ニーズに応えきれない状況となっています。

(4) 地域活動

① お茶会の開催

	期 日	内 容	参加者	会場
1	7/15	ちぎり絵	9人（うちボランティア3人）	陽だまり事務所
2	7/20	免疫力アップ体操	7人（うちボランティア3人） 他、社協1人が見学	陽だまり事務所
3	11/10	簡単で美味しいコーヒーの淹れ方	9人	陽だまり事務所
4	2/12	コーヒーフィルターで作る潤いバラ	8人	東広島市商工会議所
延べ人数			33人	12人

- 新型コロナウイルス感染症の影響により5月は見送りましたが、コロナで閉じこもりがちになっている人のお出かけ先が必要との声があり、感染拡大が落ち着いた7月からお茶会を再開しました。
- お茶会の感染対策は次のとおりです。
 - i. 密集・密接を避けるために定員を10人にする。
 - ii. 密閉を避けるため、30分ごとに換気を行う。
 - iii. スタッフは体温を測り、マスク着用、手洗いと手のアルコール消毒を行う。
 - iv. 参加者にもマスク着用をお願いする。
 - v. 机やいすをアルコール消毒する。
 - vi. お菓子は個包装、飲料はペットボトルで提供する。（4回目から）
- 3回目からお茶会のあり方を「おもてなし」から「参加型」へと見直し、高齢者とボランティアを分けることなく募集を行いました。
- 2021年度は従来型のお茶会を4回開催する他、陽だまりの仲間を広げることを目的としたチャレンジ型を新たに2回企画する予定です。

② 小学生のための居場所づくり事業

- 新型コロナウイルスの影響により、2020年度は開催しませんでした。
- 2021年度は、こどもくらぶ事業の一環として実施を検討していきます。

③ 地域行事等への参加

- 実績はありませんでした。

④ フリースペースの貸し出し

- 実績はありませんでした。

(5) 広報活動

① 陽だまり通信

- 予定通り 56 号（7 月）、57 号（11 月）、58 号（3 月）を発行し、利用者・関係機関・寄付者に配布した他、西条中央地区で回覧しました。
- 2021 年度も 3 回発行予定です。

② ホームページ・フェイスブック

- ホームページの更新は全 22 回（陽だまりクラブ 2 回、訪問介護 7 回、こどもくらぶ 8 回、地域活動 3 回、その他 2 回）で、2019 年度とほぼ同数でした。
- フェイスブックの更新は全 40 回（こどもくらぶ 38 回、理事会 1 回、お茶会 1 回）でした。直近の 3 月では各投稿のリーチ数が 60～70 人となっており、広報の効果が弱くなってきています。
- 企業が SDGS のパートナーを求めている今、陽だまりにとって広報はますます重要となってきます。ホームページは団体の顔であるため、引き続き内容の充実を図っていきます。
- 陽だまりのステークホルダーは、様々な属性と世代によって構成されています。2021 年度は誰に何を届けたいのかを明確にし、事業内容や世代によって広報ツールを使い分けるなど効果的な広報活動を行っていきます。

(6) その他の活動

① マネジメント力の強化

① - i 理事社内研修

	期 日	内 容	会 場
1	5/17	中長期計画（経理業務、広報戦略）	陽だまり事務所
2	6/7	ステークホルダー分析①	東広島市商工会議所
3	10/5	ステークホルダー分析②	陽だまり事務所

① - ii 発表・展示・講師派遣

	期 日	内 容	参加者	主催	講師・手伝い
1	12/12	福山市おでかけ支援事業運転者講習会	14 人	福山市	市川、宮本

② まちづくり・協働・ネットワークへの取り組み

② - i 委員の委嘱

	会 議 名	担 当 課	委 員
1	東広島市福祉有償運送等運営協議会	高齢者支援課	宮本

③ 助成および寄付

	内 容	寄 付 団 体 等	金 額
1	寄付	個人 137 件、企業・団体 7 件	1,625,000 円
2	マツダ・移動支援団体応援プログラム	マツダ（株）、日本NPOセンター	110,000 円
合 計			1,735,000 円

- 2020 年度は寄付の 95%が個人からのものでした。また、P S T※注2) にカウントできる寄付者は 125 人で、認定 N P O 法人の要件を達成することができました。
- 「マツダ・移動支援団体応援プログラム」の用途は、車両のタイヤ購入及び修理費用、感染症予防対策のための消毒液及び非接触体温計の購入です。
- 2021 年度は企業へ積極的に働きかけて寄付収入を増やします。

※注2) P S T (パブリック・サポート・テスト)・・・実績判定期間の各事業年度中の寄付金額の総額が 3,000 円以上である寄付者の数が、年平均 100 人以上であることを求める基準。

【ご寄付年次推移】

